

桜 だより

鹿児島大学病院広報誌



50号
2019.2

運動器疾患の治療を通して健康寿命の延伸に貢献する整形外科

外来の予約はこちらへ

外来診療は、初診は月曜日と水曜日(いずれも午前のみ)です。再診は月曜日から金曜日の予約制です。

- 初診予約は、医務課初診外来予約担当[電話:099-275-5168、FAX:099-275-6698、
受付時間:月～金(9:00～17:00)土(9:00～13:00)]までお願いします。
- 再診予約は、整形外科外来直通電話(099-275-5840)、月曜日から金曜日の8時30分から16時30分の間をお願いします。
なお、急を要する患者さんの場合は、24時間対応で診察いたします。当院の救命救急センター(099-275-5620)までご連絡ください。

運動器疾患の治療を通して健康寿命の延伸に貢献する整形外科

生物を「動物」たらしめるのは運動器です。整形外科は、運動器を担当する機能外科であり、運動器疾患の治療を通して健康寿命の延伸に貢献します。すなわち、寝たきりにならず生涯にわたり元気で活動的な人生を送るお手伝いするのが私たちの務めです。整形外科は首から下は全てと非常に守備範囲が広く、かつ扱う疾患も加齢に伴う慢性疾患、外傷、腫瘍、リウマチ、スポーツなど多岐にわたります。そのため、鹿児島大学整形外科では、各専門グループに分かれて診療を行い、全体のカンファレンスを通して治療方針を決定致します。その際、患者さんの年齢や背景、活動性を考慮して、最も適切な治療を選択するよう心がけています。以下に各専門グループが扱う代表的な疾患についてご紹介します。



専門グループ

脊椎、腫瘍・手・マイクロサージャリー、肩関節、膝関節、股関節、足、スポーツ

脊椎グループ

脊椎グループは、側弯症などの脊柱変形や脊椎脊髄腫瘍、上位頸椎、靭帯骨化症など難易度の高い疾患から腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症など一般的な疾患まで担当します。高難度の手術に対しては、脊髄モニタリングや術中画像診断を用いて、手術の安全性を高める工夫を行っています。(担当: 富永博之、河村一郎、八尋雄平)

腰椎椎間板ヘルニア

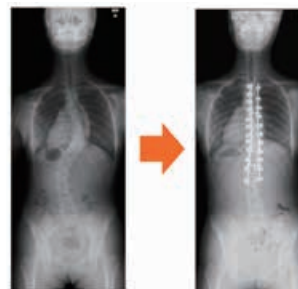
腰椎(腰の背骨)の間には、クッションの役割をする椎間板がありますが、内部の髄核が脊柱管内に突出・脱出すると、神経根圧迫による下肢の痛みやしびれが出現し、下肢麻痺や排尿障害が生じる場合もあります。当科ではヘルニアを摘出する際に、顕微鏡や内視鏡を使用して、神経を傷つけないよう細心の注意を払っています。



内視鏡下手術

小児側弯症

様々な原因で背骨が曲がってしまう疾患です。変形の進行とともに痛みが生じたり、胸郭変形による影響で呼吸機能が障害されたりします。また程度が強ければ、成人に達してからも変形が進行する場合があります。現在行われている治療は、①経過観察(定期外来受診)②装具治療 ③手術治療の3つが主体です。疾患原因、年齢、成長の程度、曲りの角度を考慮して、ご家族とも相談しながら最適な治療法を選択します。



腫瘍・手・マイクロサージャリー・グループ

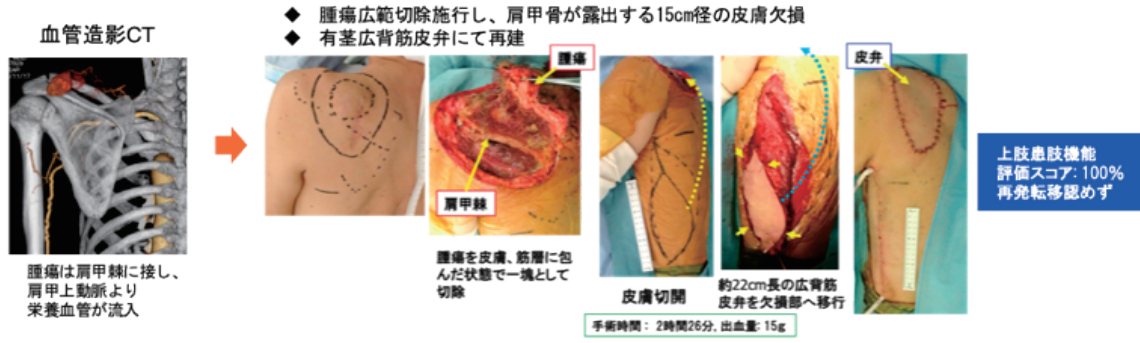
骨軟部腫瘍グループは、良性骨腫瘍(骨にできた良性の腫瘍)、良性軟部腫瘍(筋肉、神経、脂肪などにできた良性の腫瘍)、悪性骨腫瘍(骨にできた悪性の腫瘍)、悪性軟部腫瘍(筋肉、神経、脂肪などにできた悪性の腫瘍)を中心に診療を行っています。また、マイクロサージャリーを用いた手・肘の手術も行っています。(担当: 永野聡准教授、佐々木裕美)

悪性骨腫瘍の治療

治療は症例により様々ですが、手術を行う場合と手術前に抗がん剤治療を行う場合があります。手術は腫瘍が発生している骨だけでなく、骨の周りの筋組織も一緒に切除することもあります。腫瘍を切除した後は、再建術が必要となります。

悪性軟部腫瘍の治療

生検術で悪性軟部腫瘍との診断が得られた場合には広範切除術を行います。広範切除術とは、腫瘍だけでなくその周りの組織(筋肉や皮下組織、皮膚など)まで一緒に切除することです。広範切除を行った後は皮膚や筋肉がなくなるため再建術が必要です。

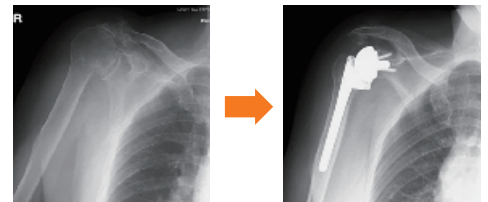


肩関節グループ

肩関節グループは変形性肩関節症、腱板断裂、反復性肩関節脱臼、投球障害、胸郭出口症候群などの疾患を扱い、主に関節鏡を用いた低侵襲手術を行っています。(担当: 谷口昇教授、椛博則講師)

腱板断裂性肩関節症

腱板断裂性肩関節症とは、腱板断裂に引き続き肩関節の変形が生じた状態で、痛みと筋力低下が生じます。この疾患に対して、当院では主にリバース型人工肩関節全置換術を行っています。肩関節は上腕骨先端の丸い部分(骨頭)を肩甲骨の関節面で受け止める構造ですが、この人工関節ではそれが逆となっています。腱板を修復できなくても三角筋の働きで腕を挙げられる最新の治療法です。



膝関節グループ

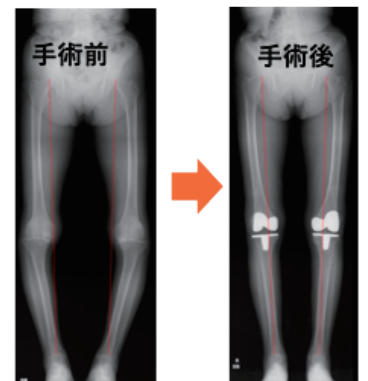
膝関節グループは、慢性疾患やリウマチ、外傷に対して主に人工膝関節置換術や骨切り術などを行っています。(担当: 今村勝行)

変形性膝関節症

加齢・肥満・膝の外傷歴などを原因として膝の関節軟骨が摩耗消失し、炎症による痛みや関節水腫がおきる病気です。階段の上り下りが辛い、立ち上がる時に両手の支えが必要になるなど日常生活に大きな支障をきたし、進行すると歩行自体が困難となります。

人工膝関節置換術

関節の傷んでいる部分を取り除き金属やポリエチレンなど人工膝関節に置き換える、除痛効果にすぐれた手術です。当科ではナビゲーションシステムなど専用機材を用いて正確な手術を行い、高い満足度や長期耐用性が得られるよう努力しています。

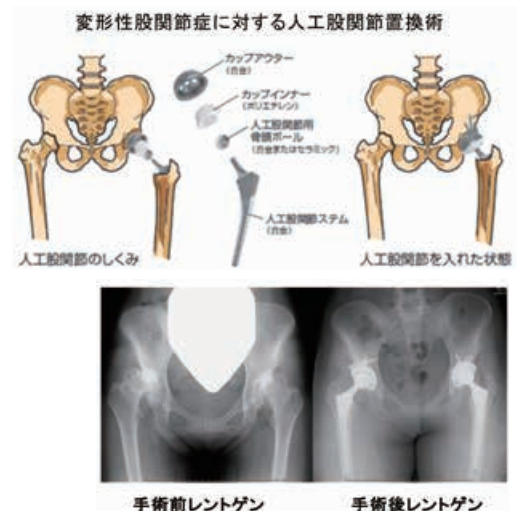


股関節グループ

股関節グループは、変形性股関節症、特発性大腿骨頭壊死症、関節リウマチ、大腿骨近位部骨折など、股関節に関するあらゆる疾患を扱っています。(担当: 藤元祐介、伊集院俊郎)

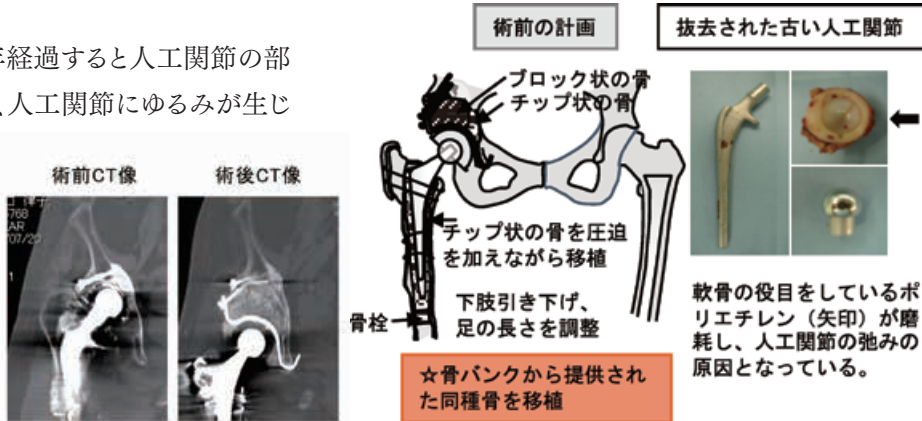
人工股関節置換術

変形性股関節症などで障害のおこった関節を金属やセラミックス、ポリエチレンなどでできた人工の関節に入れ替える手術で、痛みが消失し、歩行能力が改善します。



人工股関節の入れ替え(再置換術)

人工関節置換術を受けて15~20年経過すると人工関節の部品(ポリエチレン)の磨耗などが起こり、人工関節にゆるみが生じてきます。このような場合は骨破壊が生じる前に、新しい人工関節への入れ替え、すなわち再置換が必要となります。骨破壊が大きい場合は、骨バンクから提供された骨を移植します。



足外科グループ

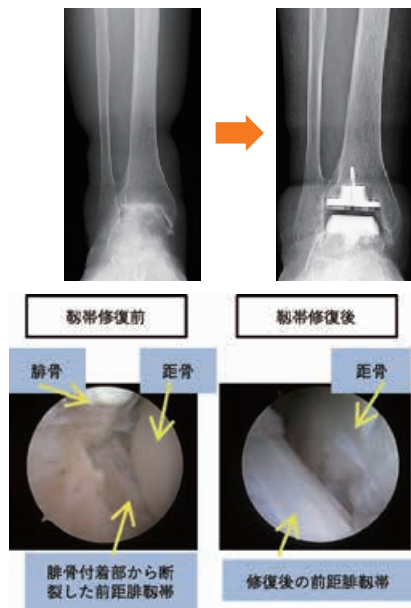
足の外科グループは、小児から高齢者まで幅広い年齢層に発症する足部・足関節の疾患を扱います。先天異常や変性疾患、スポーツ傷害、外傷など症状を発症する要因は多岐にわたります。(担当:中村俊介)

変形性足関節症

足関節を構成する脛骨と距骨の軟骨が徐々にすり減る疾患です。各病期に合わせて、骨切り術や固定術、人工足関節などの治療法を適切に選択しています。

足関節外側靭帯損傷、慢性足関節不安定症

足関節捻挫は、もっとも代表的なスポーツ外傷の一つです。外側靭帯損傷がある場合は、15-20%に不安定性が残存し、捻挫を頻繁に繰り返すようになります。症状が日常生活やスポーツ活動性の低下を来している場合には、関節鏡下に靭帯修復術や靭帯再建術を行います。



スポーツグループ

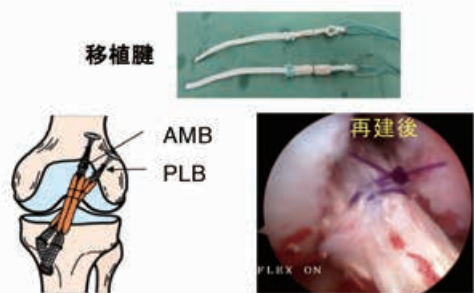
スポーツグループは、下肢を中心としたスポーツ外傷を主に担当します。(担当:廣津匡隆)

膝前十字靭帯損傷

ジャンプ後の着地、疾走中の急激な方向転換、相手との衝突などによって、膝関節に異常な回旋力が加わり受傷します。関節内の前十字靭帯は自然治癒しないため、ハムストリングスという膝を曲げる腱を用いて再建します。関節鏡下に脛骨、大腿骨に各々骨孔を作成して2本の移植腱を固定することにより再び膝の安定性が得られ、スポーツ復帰が可能となります。

上記以外にも一般外傷、小児整形、関節リウマチ、骨粗鬆症などの治療を行っています。

曜日ごとの外来担当医師は表の通りです。初診受付は原則紹介状が必要になりますので、かかりつけ医などお近くの医療機関にまずご相談ください。



区分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前 (予約制)	(初診) 谷口 昇 米 和徳 廣津 匡隆 佐々木 裕美 今村 勝行 藤元 祐介 八尋 雄平		(初診) 永野 聡 梶 博則 富永 博之 河村 一郎 中村 俊介 今村 勝行 伊集院 俊郎 (再診) 谷口 昇		(関節クリニック) 藤元 祐介
午後 (予約制)	(腫瘍クリニック) 永野 聡 佐々木 裕美 (脊椎クリニック) 米 和徳 富永 博之 八尋 雄平 (関節クリニック) 梶 博則 廣津 匡隆 中村 俊介	(関節クリニック) 中村 雅洋 (月に2回)	(側弯クリニック) 山元 拓哉 (第2,4,5週) 河村 一郎 (脊椎クリニック) 河村 一郎 (関節クリニック) 伊集院 俊郎		

※各クリニック及び再診は予約制

臨床技術部 リハビリテーション部門

○鹿児島大学病院におけるリハビリテーションの流れ

まず主治医からご紹介を受けた患者さんについて、リハビリテーション科医師が病気や外傷によって低下した身体的・精神的機能や、日常生活の活動に支障となる様々な障害の評価を行い、保険診療に即したりハビリテーションの計画や処方を行います。その上で当部門の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が各療法を実施します。リハビリテーションの基本はチーム医療であり、医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなど多くの職種と連携し、患者さんやご家族と共にゴールを共有し、目標の達成を目指します。

○リハビリテーション部門スタッフ紹介

構成要員は理学療法士21名、作業療法士11名、言語聴覚士4名、理学療法助手1名です。そのうちICUと救急病棟に理学療法士2名を専従配置し、回復期病棟には理学療法士3名、作業療法士3名、言語聴覚士1名を専従配置しています。

○業務内容

近年、様々な疾患に対して“早期リハビリ”が全身の機能の回復を促進することが知られるようになってきました。当院では整形外科や脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科等の手術後や、脳卒中、急性心筋梗塞など様々な急性疾患に対し積極的に早期から実施しています。また、脳卒中などで生じる片麻痺に対し、当院で開発された新たな運動療法である「促通反復療法」をはじめ、振動刺激や電気刺激、経頭蓋磁気刺激などの先進的治療を駆使して、社会復帰に向け高度で専門的なリハビリテーションを提供しています。また、がん患者さんに対しては予防的、回復的、維持的、緩和的リハビリテーションを緩和ケアチームとも連携しながら実施しています。

理学療法部門では、術後の呼吸器ケア（喀痰排出の補助など）や廃用予防のため体調に応じた機能回復訓練や基本動作訓練をICUや救急病棟入院中から行い、一般病棟へ転棟後の積極的な運動や歩行訓練の実施へと繋げています。

作業療法部門では、日常生活動作（食事、更衣、トイレ動作など）の自立度向上のため、専門的な視点でリハビリテーションを行います。さらに環境調整や福祉用具を活用し、無理のない自立した生活をサポートします。

言語聴覚療法部門では、言語や音声、高次脳機能、発達、摂食嚥下に関わる障害に対して、検査と評価を実施してそのメカニズムを明らかにし、必要に応じて訓練や環境調整を含む指導や支援を行っています。

保険診療上の施設基準は、脳血管疾患等（I）、運動器（I）、呼吸器（I）、心大血管疾患（I）、がん患者、廃用症候群（I）の6種で、実施の内訳は表の通りです。現在、鹿児島大学病院では常時200名を超える入院患者さんのリハビリテーションを実施しています。

また、2018年6月から回復期リハビリテーション病棟が開設され、脳神経疾患や運動器疾患など対象となる患者さんに対して急性期から回復期まで一貫したリハビリテーションの提供が可能となりました。

平成30年リハビリテーション部の
疾患別実施件数

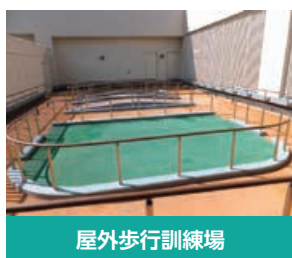
疾患分類	件数
脳血管疾患等(I)	23754件
運動器(I)	10407件
呼吸器(I)	1960件
心大血管疾患(I)	6029件
がん患者	4279件
廃用症候群(I)	8786件



リハビリテーション室全体



リハビリテーションの様子



屋外歩行訓練場



心臓リハビリスペース

「3秒ベニハゼ」

桜島南岸の水深30m。通り慣れた海中の崖の途中にある大きな亀裂に、私は息をこらえて潜り込みました。息を吐くと、浮上する大きな気泡が亀裂の壁をかき乱し、生き物たちは隠れ、舞い上がった塵で視界が失われてしまうのです。

水中ライトの光量を弱く設定し、ゆっくりと亀裂の壁面を照らします。一面に付着したカキやゴカイの仲間などの付着生物が、溶岩の岩肌を覆い尽くしています。

大正3年の桜島大噴火で、灼熱の溶岩が海中になだれ込み、造り出した複雑な地形は、90年以上を経て、多くの生き物たちに格好のすみかを提供しているのです。入り組んだ亀裂の暗闇に暮らす生き物たちは、光をとっても嫌います。強い光を急に当てると、亀裂の奥深くやカキ殻の間に瞬間に姿を消してしまいます。

この日会いに来たのは、2008年3月にこの錦江湾から発見されたナガシメベニハゼです。光を非常に嫌い、ライトが当たるとほんの数秒しかその姿を見せてくれません。名前が付けられる前には、私たちダイバー仲間の間では、この臆病な小魚を、じっくり見られない悔しさを込めて「3秒ベニハゼ」と呼んでいました。

私は、その美しい姿をどうしても写真に納めたくて、1つの個体を決め、毎

日のように通い、ライトの光に慣れてもらう事にしました。数か月後、「3秒ベニハゼ」は、「3分ベニハゼ」になりました。

見慣れた顔となった彼を、カメラのファインダー越しに覗きます。その鮮やかな色彩は、まさに暗がり輝く宝石のように見えました。



オレンジ色のカイメンの上のナガシメベニハゼ。全長3cm。

ユナイテッドFCの選手が 小児病棟を慰問しました！

日本プロサッカーリーグ「J2」に昇格した鹿児島ユナイテッドFCの選手・スタッフが、12月24日(月)に小児病棟を慰問し、入院中の子供達1人1人にクリスマスプレゼントを贈呈しました。

本院への慰問は今年で3回目となり、当日は、赤尾 公 選手、田上 裕 選手、富成 慎司 選手、野嶽 惇也 選手、吉井 孝輔 選手の5名(50音順)が、サンタやトナカイに扮した格好でプレイルームや各病室を慰問し、子供達1人1人に話しかけながら、クリスマスプレゼントを手渡していました。

クリスマスプレゼントは、ユナイテッドFCの選手が実際に着用していたユニフォームで、子供達は選手にサインをお願いしたり一緒に写真撮影をお願いしたりして、選手との楽しいひとときを、笑顔で過ごしていました。



小児病室を慰問したユナイテッドFCの選手
プライバシー保護のため、患者さんの顔は、処理しています。

Topics

前田 光喜 先生(呼吸器外科)が 人命救助を行い「感謝状」を授与されました！

平成30年12月27日(木)に、呼吸器外科医局で 弥永 重俊 氏(宮崎県 高原町長の代理)より感謝状が授与され、佐藤 雅美 教授同席のもと、前田先生から経緯を聞かせていただきました。

昨年10月7日(日)、第17回霧島登山マラソン(宮崎県 高原町主催)に参加しました。

このマラソンは、高原町(たかはるちょう)の皇子原公園から高千穂峰山頂を目指す大会で、総延長が9km、標高差が1,200mを越えるコースです。初めの5.5kmは舗装された坂道を走り、以降は登山道を走破します。

今回、鹿児島市立病院の看護師2名と一緒に走っていたところ、登山道の入口付近で心肺停止の男性が倒れており、お互い名前も知らない参加者同士で、懸命の救命活動を行いました。幸い蘇生することに成功し、安堵の気持ちで一杯でした。すぐに、ドクターヘリで近くの病院へ緊急搬送され、その後、無事に退院されたそうです。

救命活動にご尽力いただいた多くのボランティアや自衛隊の方々、お互いに助け合った参加者の皆様には、深く感謝しています。来年も、このマラソンに是非参加したいです。

今回の表彰を、小学生の長男がとても喜んでくれたことが、私にとっての誇りです。

左:前田 光喜先生
右:弥永 重俊 登山マラソン実行委員長



表紙の写真

平成30年4月1日付けで、整形外科第4代目教授として、谷口昇先生が着任されました。

僻地・離島を抱える鹿児島の地域医療を守りながら、新規治療の開発に取り組み、世界に通用する人材を育成してまいります。皆様のご支援をよろしくお願いたします。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより(50号)

2019(平成31)年2月発行 発行/鹿児島大学病院広報委員会
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692
<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>

*「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。